

第 21 回岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 次第

日時 令和 4 年 11 月 29 日（火）

1 発生状況について

資料 1

2 岐阜県の対応について

資料 2

【配布資料】

資料 1 岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について(R4.11.28 公表時点)

資料 2 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会(第 51 回)対策本部本部員会議(第 63 回)

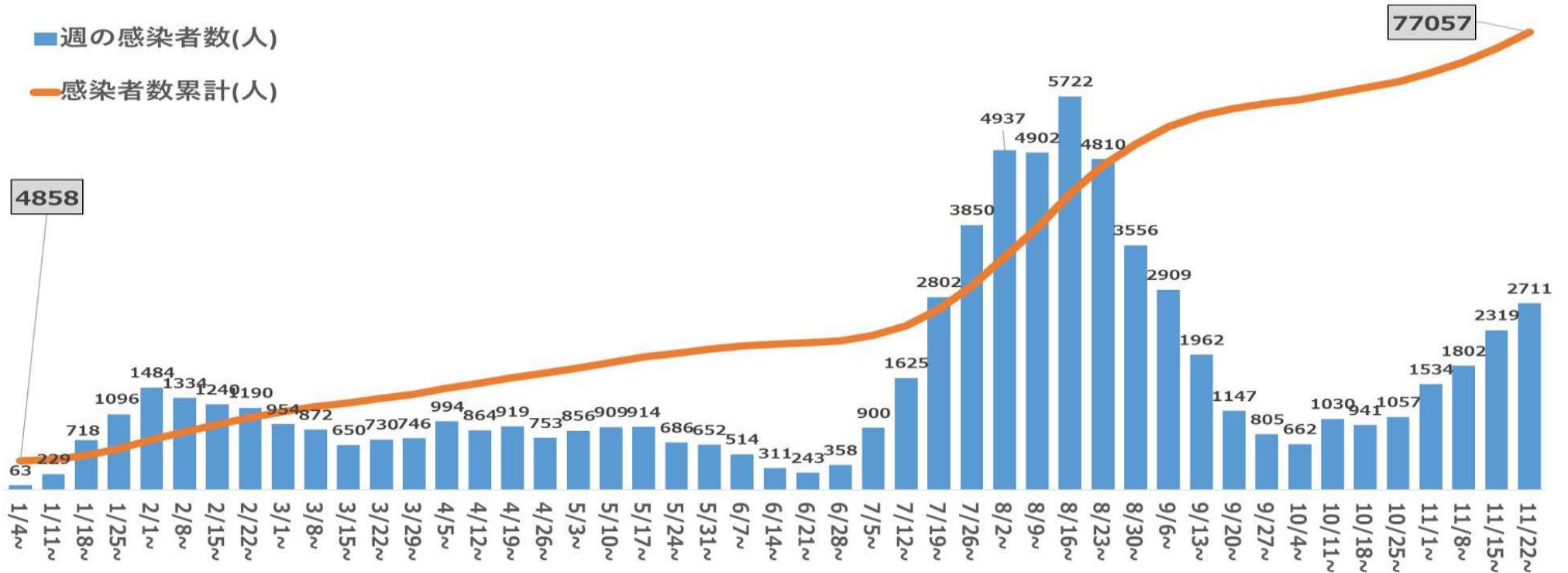
岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について（R4. 11. 28 公表時点）

1 感染者数推移（週計）

- ・ **累計77,057人**の感染者が発生。（9/27以降は、岐阜県が公表した「県内居住地別陽性者数」のうち、居住地が岐阜市である陽性者数）
- ・ 一週間の**人口10万人あたり**の感染者数は、11/22～11/28の一週間において**673.45人**となった。

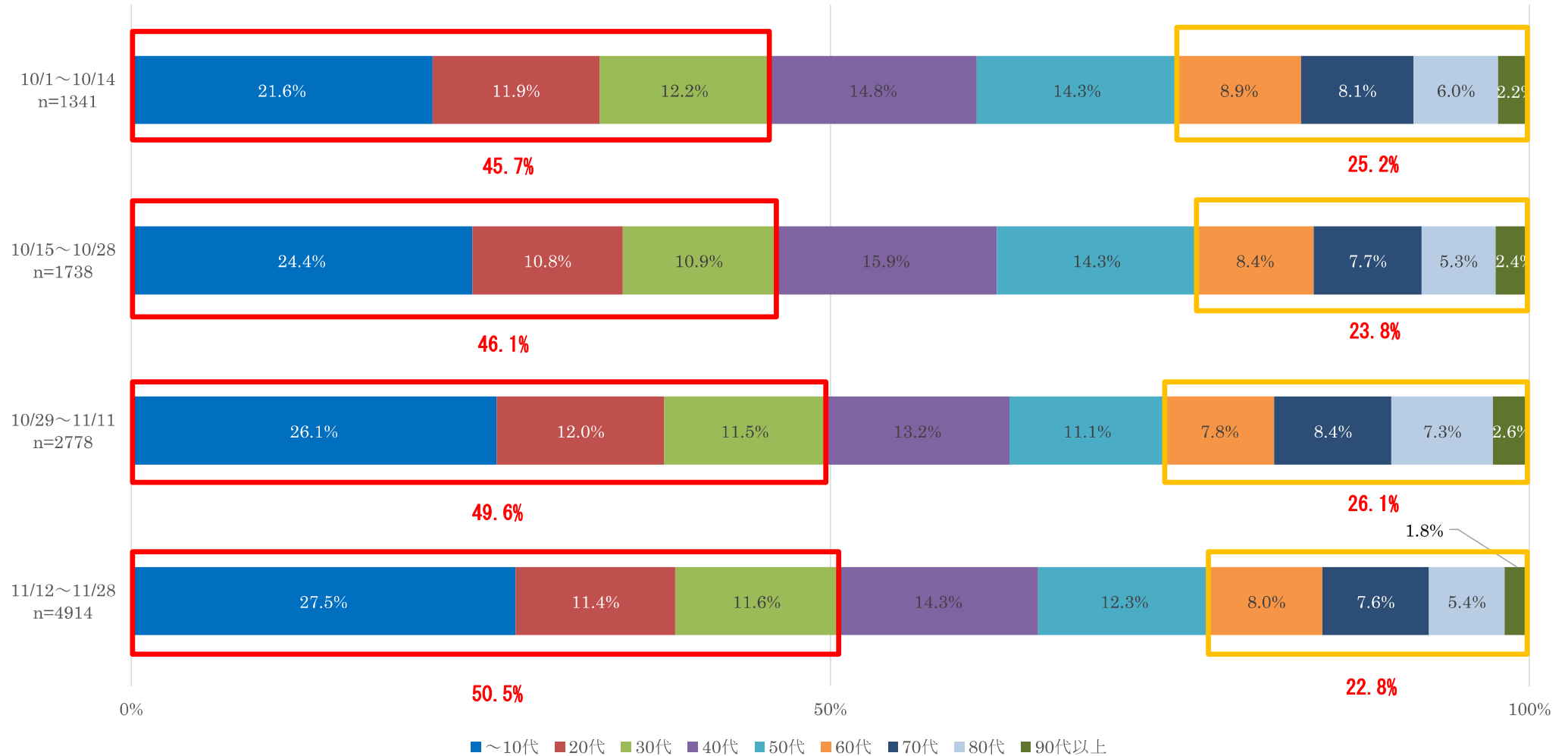
参考（11/22～11/28での比較） 全国：559.42人 岐阜県：707.37人 愛知県：609.08人（厚生労働省公表資料より算出）

一週間あたりの新規感染者数の推移（R4）



2 年代別割合の比較（令和 4 年 10 月以降）

・ 30代以下が50. 5%、60代以上が22. 8%となっている。



※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない場合があります。

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第 5 1 回）
対策本部本部員会議（第 6 3 回）

日 時：令和 4 年 1 1 月 2 9 日（火）

1 4 : 3 0 ~

場 所：県庁 4 階 特別会議室

1 感染状況

資料 1

2 本県のレベル判断基準（案）

資料 2

3 岐阜県医療ひっ迫警戒宣言（案）

資料 3

<参考>

新型コロナ感染対策チェックリスト

参考資料

**岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第51回） 対策本部本部員会議（第63回） 出席者名簿**

日時：令和4年11月29日（火）14：30～
場所：岐阜県庁4階 特別会議室

1 市町村

市名	氏名等	備考	町村名	氏名等	備考
岐阜市	柴橋 正直 市長	T V	岐南町	小島 英雄 町長	T V
大垣市	石田 仁 市長	T V	笠松町	古田 聖人 町長	T V
高山市	田中 明 市長	T V	養老町	大橋 孝 町長	T V
多治見市	古川 雅典 市長	T V	垂井町	早野 博文 町長	T V
関市	尾関 健治 市長	T V	関ヶ原町	西脇 康世 町長	T V
中津川市	木村 研一 理事	T V	神戸町	藤井 弘之 町長	T V
美濃市	堀部 勉 副市長	T V	輪之内町	中島 良重 調整監	T V
瑞浪市	正村 和英 理事兼総務部長	T V	安八町	堀 正 町長	T V
羽島市	松井 聡 市長	T V	揖斐川町	岡部 栄一 町長	T V
恵那市	小坂 喬峰 市長	T V	大野町	宇佐美 晃三 町長	T V
美濃加茂市	佐藤 文彦 副市長	T V	池田町	牛嶋 勝一 副町長	T V
土岐市	加藤 淳司 市長	T V	北方町	戸部 哲哉 町長	T V
各務原市	浅野 健司 市長	T V	坂祝町	柴山 佳也 町長	T V
可児市	坪内 豊 企画部長	T V	富加町	板津 徳次 町長	T V
山県市	久保田 裕司 副市長	T V	川辺町	佐藤 光宏 町長	T V
瑞穂市	森 和之 市長	T V	七宗町	加納 福明 町長	T V
飛騨市	都竹 淳也 市長	T V	八百津町	金子 政則 町長	T V
本巣市	藤原 勉 市長	T V	白川町	安江 章 副町長	T V
郡上市	日置 敏明 市長	T V	東白川村	今井 俊郎 村長	T V
下呂市	田口 広宣 副市長	T V	御嵩町	渡邊 公夫 町長	T V
海津市	近藤 康成 健康福祉部長	T V	白川村	成原 茂 村長	T V

2 各種団体

団体名	氏名等	団体名	氏名等
岐阜県医師会	伊在井 みどり 会長	岐阜県商工会連合会	野原 茂基 専務理事
岐阜県歯科医師会	阿部 義和 会長	岐阜県中小企業団体中央会	川本 敏 専務理事
岐阜県薬剤師会	日比野 靖 会長	岐阜県経済同友会	中川 正之 筆頭代表幹事
岐阜県病院協会	富田 栄一 常務理事	岐阜県商店街振興組合連合会	日比野 豊 理事長
岐阜県看護協会	鷺見 みどり 常務理事	岐阜県農業協同組合中央会	川村 規明生 参事
岐阜県観光連盟	服部 敬 常務理事	大垣銀行協会	竹中 哲夫 公務金融部長
岐阜県経営者協会	安藤 正弘 専務理事	日本政策金融公庫 岐阜支店	額額 和人 支店長
岐阜県商工会議所連合会	船田 淳 事務局長	岐阜労働局	牧野 宏俊 健康安全課長

3 専門家

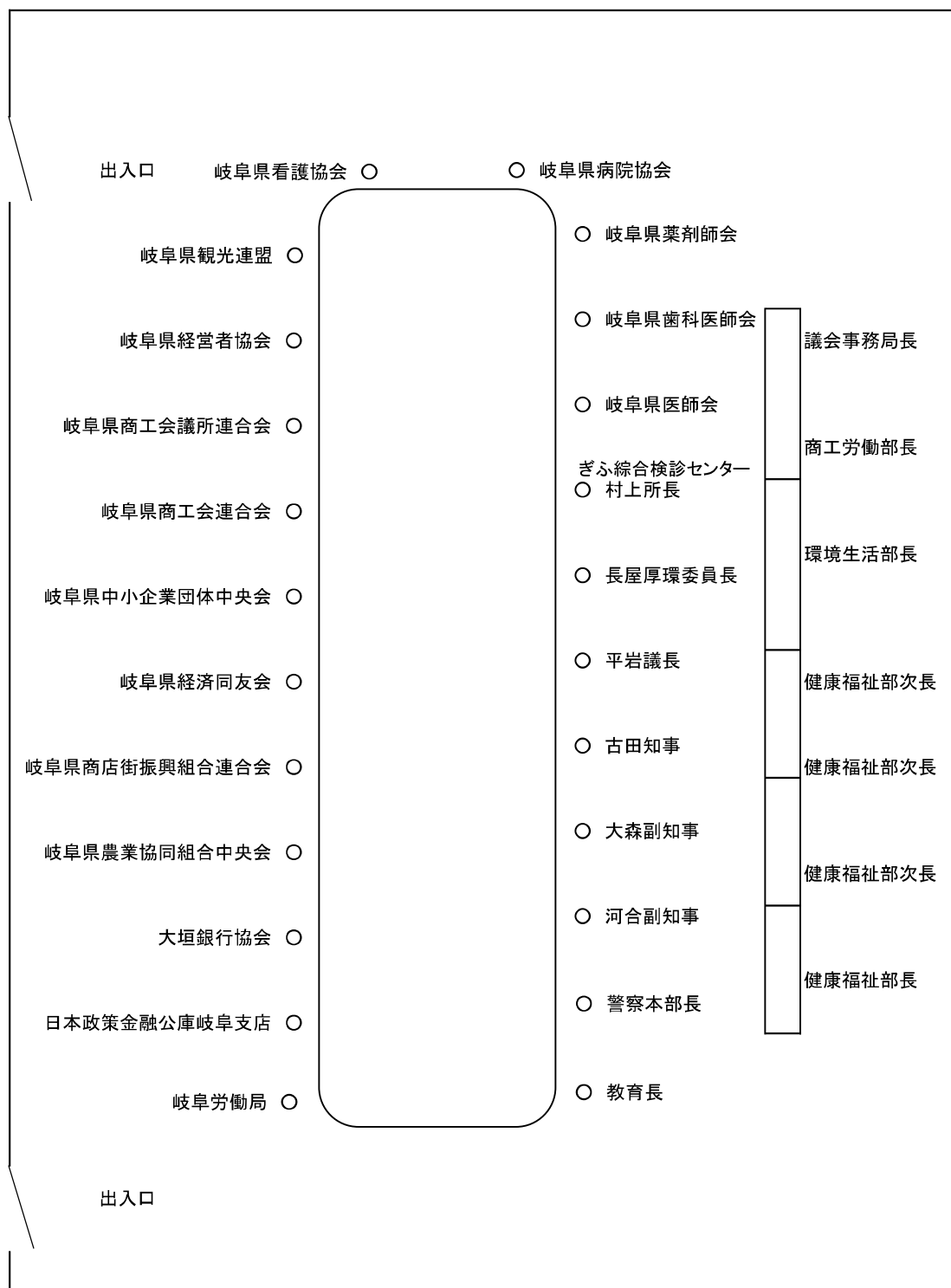
所属名	氏名等
ぎふ総合健診センター	村上 啓雄 所長

4 県

	氏名		氏名
知事	古田 肇	健康福祉部長	堀 裕行
議長	平岩 正光	子ども・女性局長	村田 嘉子
厚生環境委員会委員長	長屋 光征	商工労働部長	崎浦 良典
副知事	大森 康宏	観光国際局長	丸山 淳
副知事	河合 孝憲	農政部長	雨宮 功治
警察本部長	加藤 伸宏	林政部長	高井 峰好
教育長	堀 貴雄	県土整備部長	大野 真義
会計管理者	北川 幹根	都市建築部長	野崎 眞司
秘書広報統括監	高橋 洋子	都市公園整備局長	舟久保 敏
総務部長	尾鼻 智	議会事務局長	山口 義樹
清流の国推進部長	長尾 安博	人事委員会事務局長	田中 誠司
デジタル推進局長	市橋 貴仁	監査委員事務局長	大脇 哲也
危機管理部長	内木 禎	労働委員会事務局長	樋口 博久
環境生活部長	渡辺 正信	健康福祉部次長	渡辺 幸司
県民文化局長	竈橋 智基		

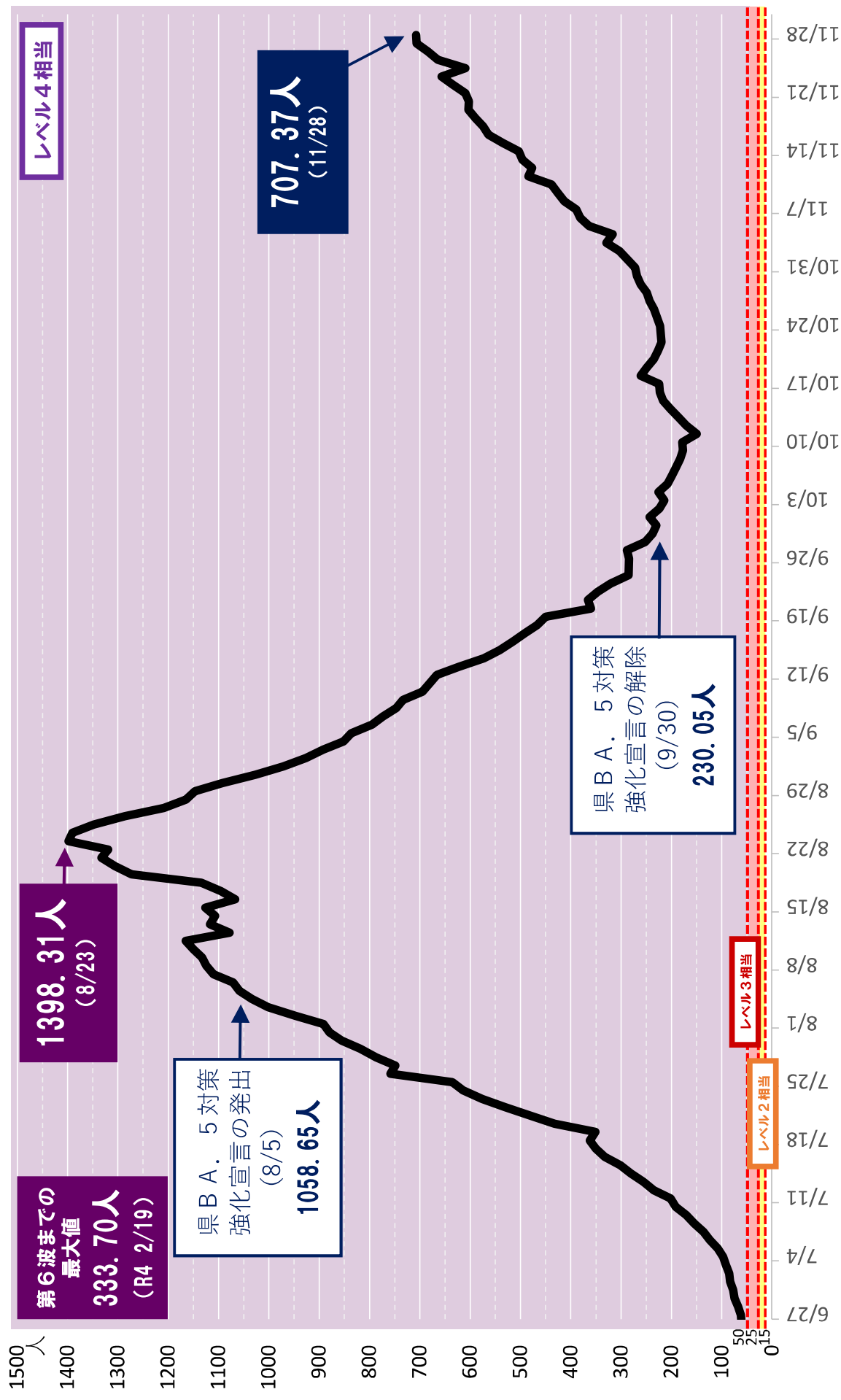
岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会(第51回) 対策本部本部員会議(第63回) 配席図

令和4年11月29日(木)14:30～
4階特別会議室

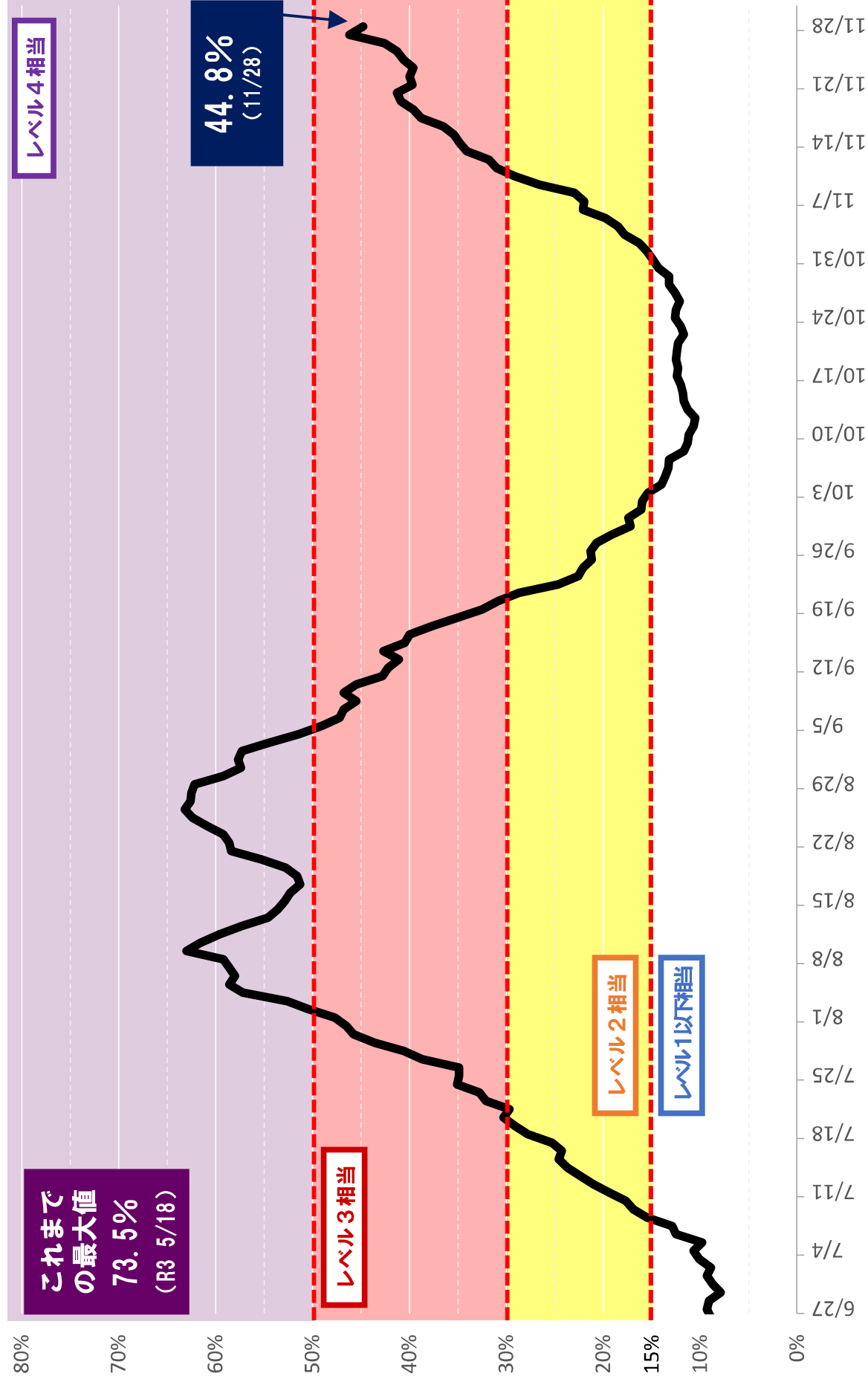


県の10万人あたり新規陽性者数 (7日間移動合計)の推移

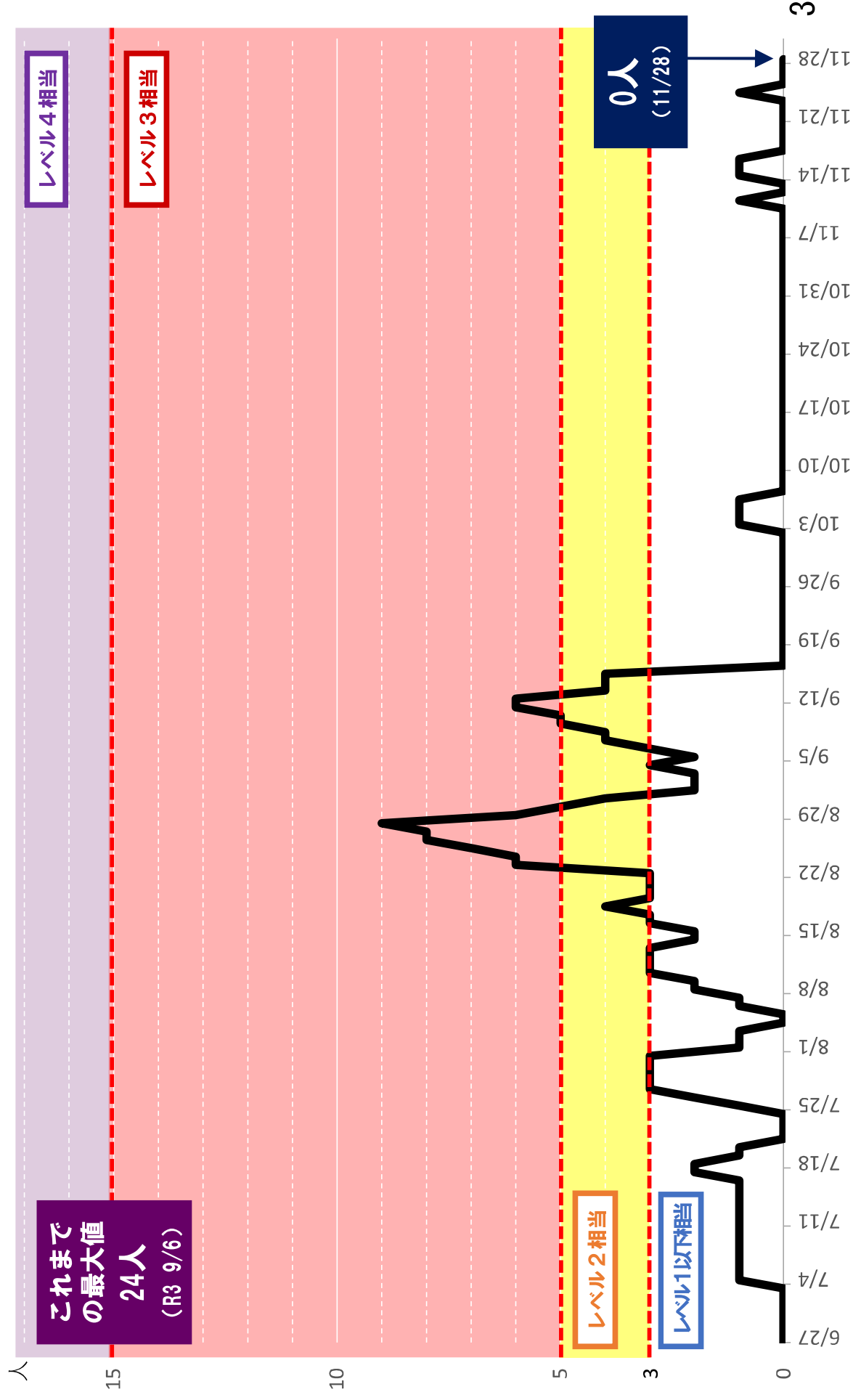
資料 1



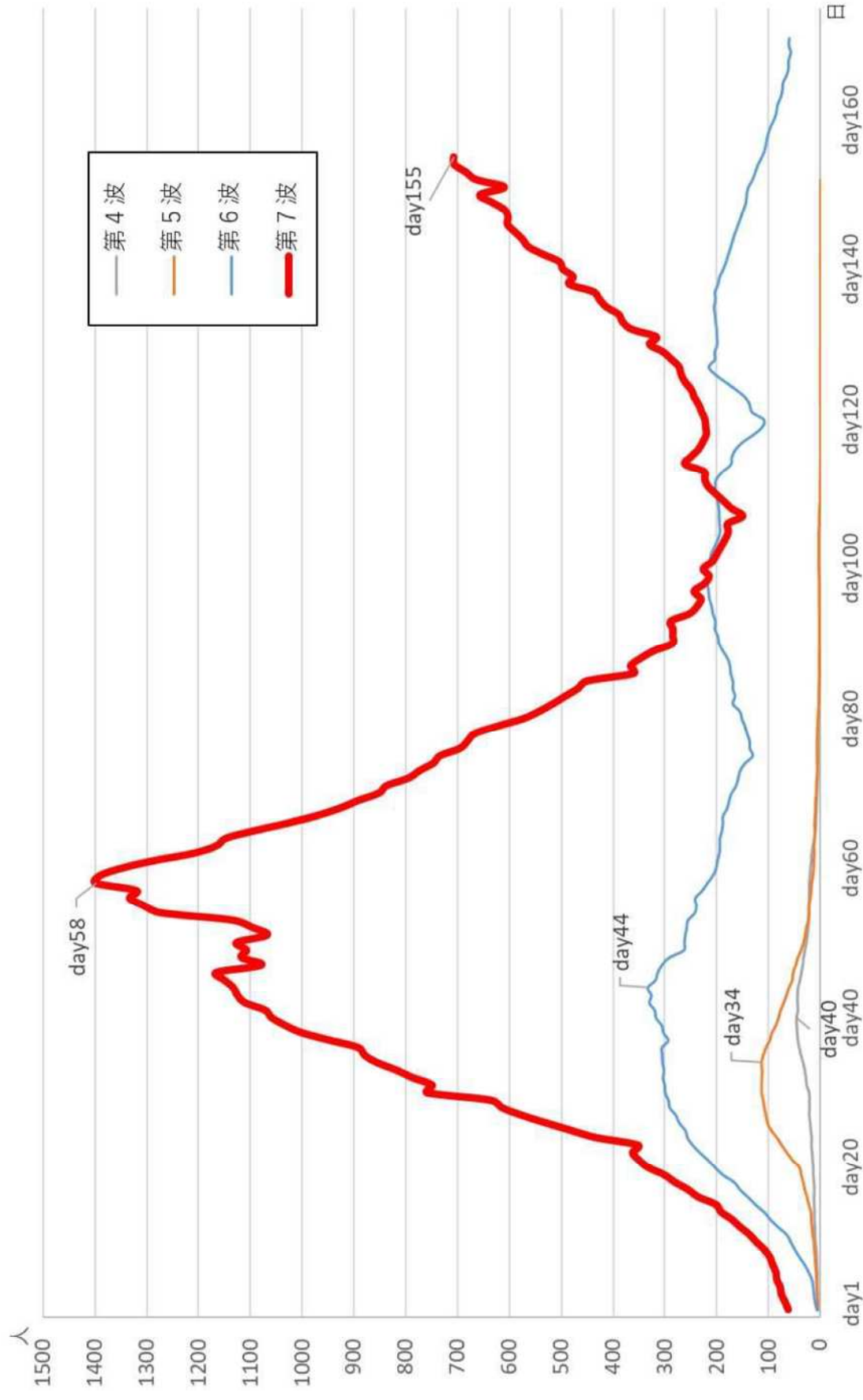
県の病床使用率の推移



重症者数の推移



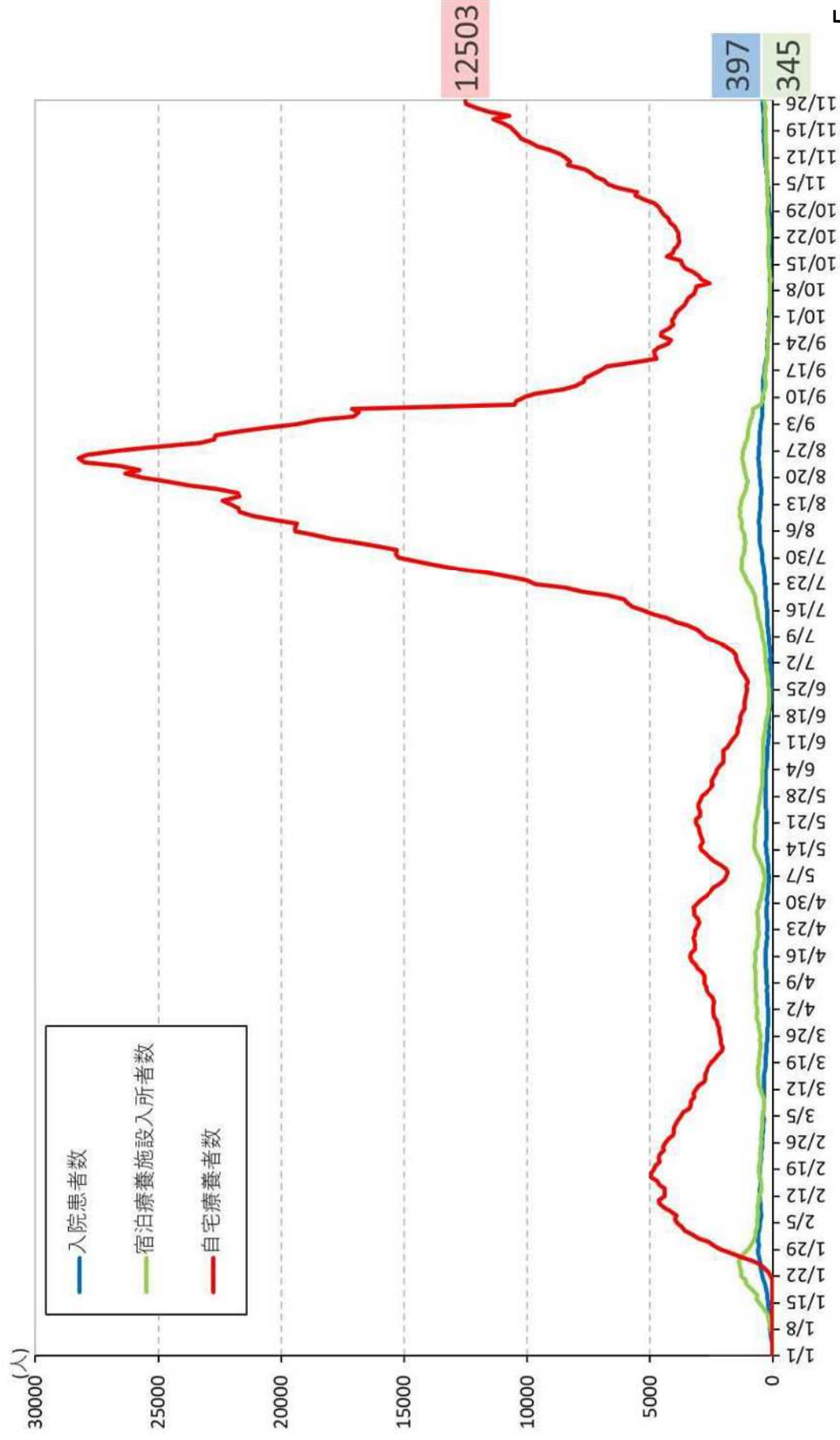
第7波と過去の波との比較 (新規陽性者数(10万人対、7日間移動合計))



※各波において、新規陽性者数(10万人対、7日間移動合計)が初めて5人を上回った日をday1として整理(ただし、第7波は波の初日をday1とする)

療養者数の推移

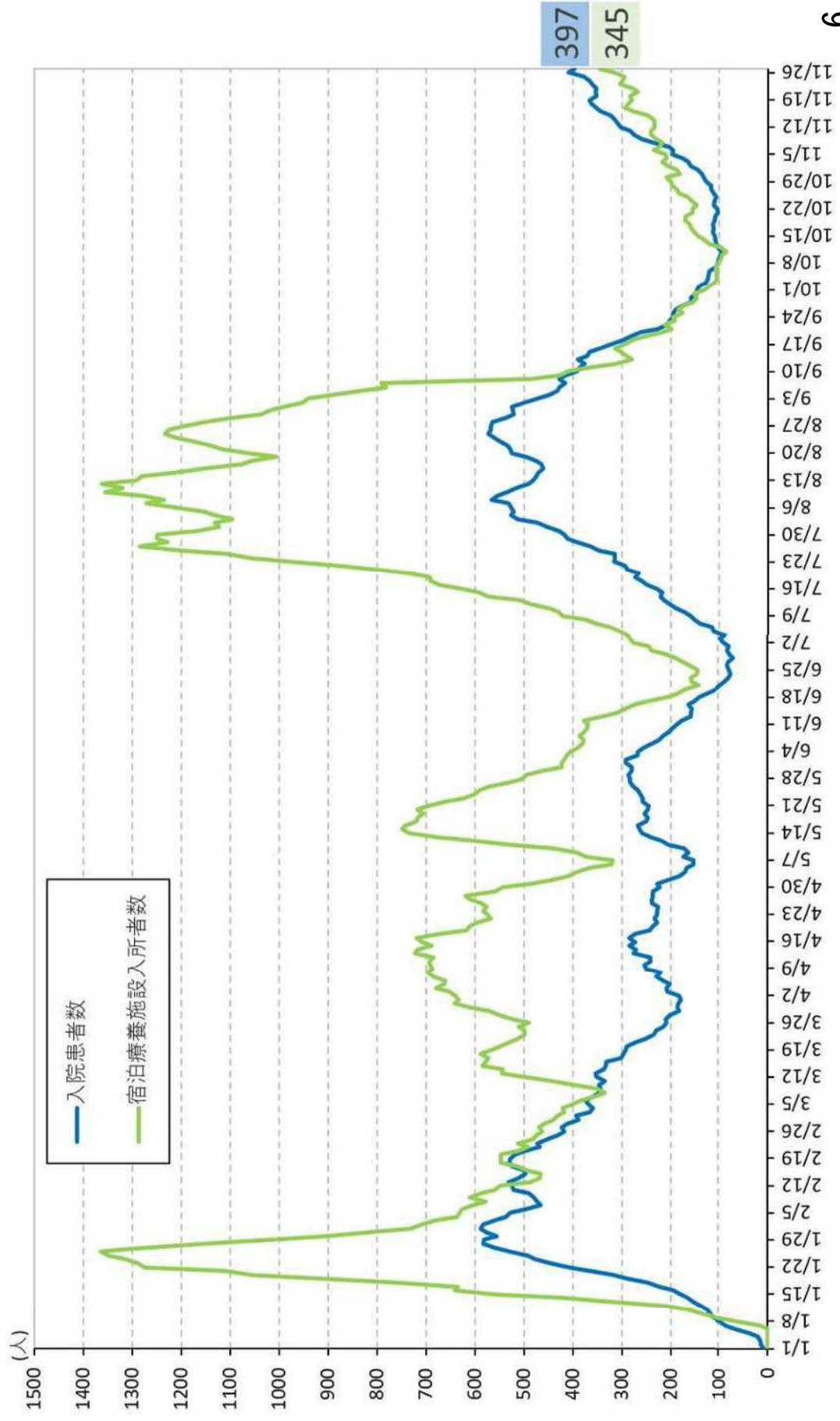
11月27日時点



※自宅療養者数は、「発生届対象者分」+「発生届対象外者分の推計」を使用

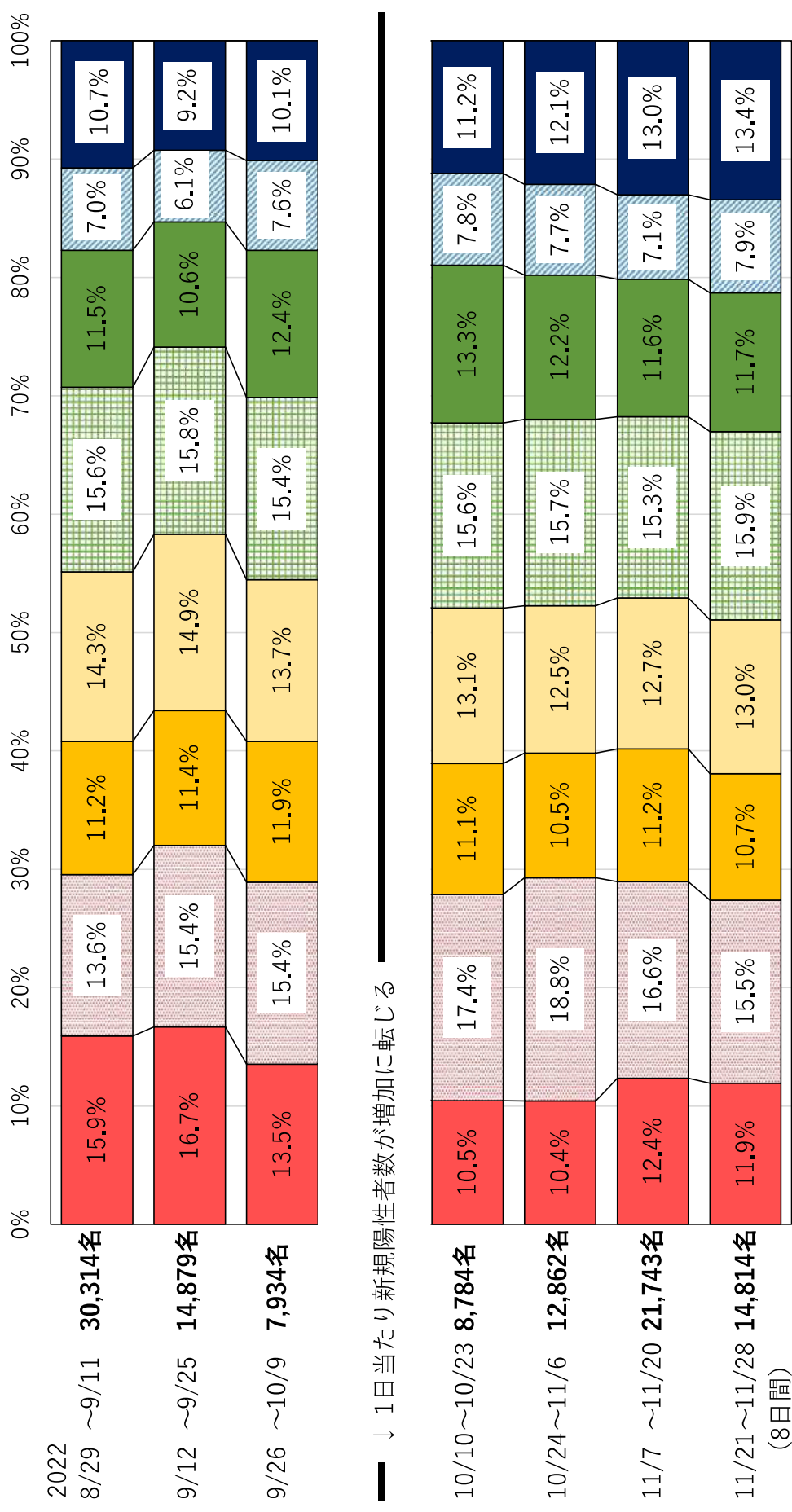
入院患者数、宿泊療養施設入所者数の推移

11月27日時点



陽性者数が増加に転じて以降の特徴 年代別陽性者の割合 ※2週間単位で区分して比較

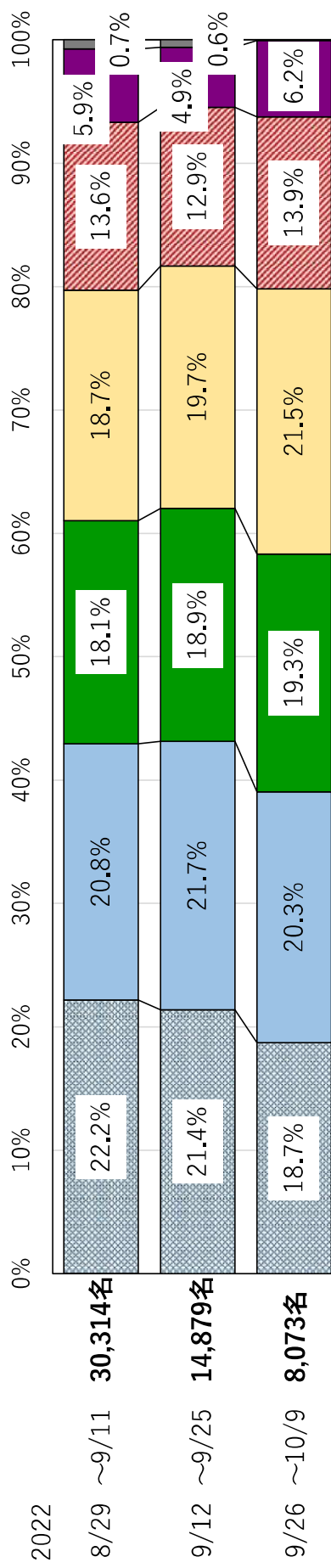
直近では、高齢者層の陽性者が増加傾向



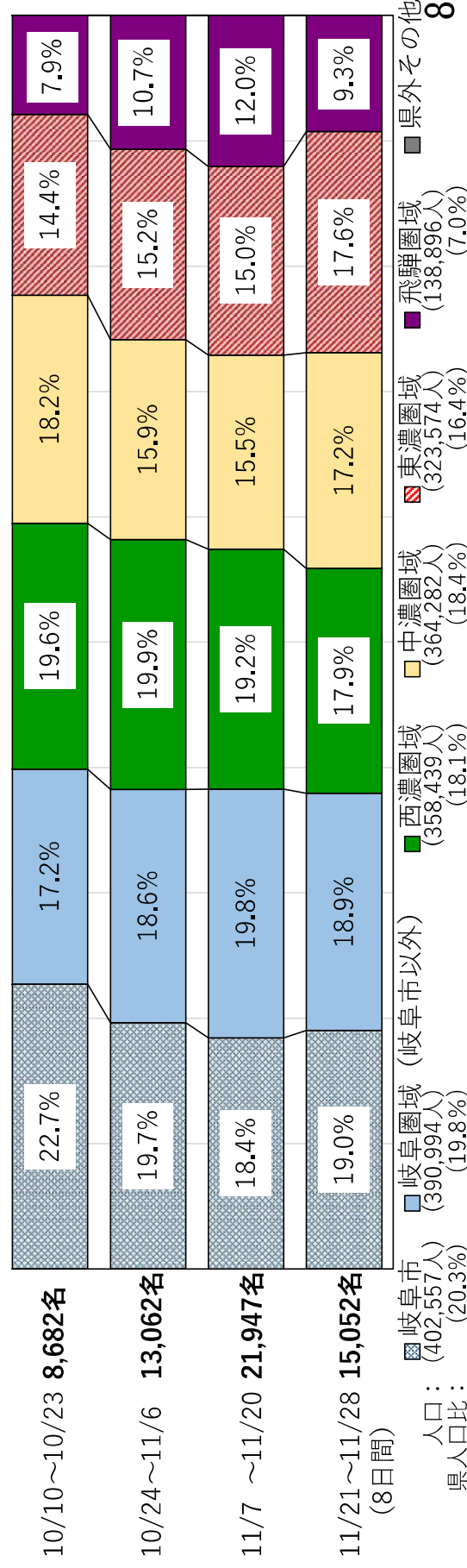
10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

陽性者数が増加に転じて以降の特徴 居住地別陽性者の割合 ※2週間単位で区分して比較

10月中旬以降、飛騨圏域の陽性者数が高水準で推移 直近では、東濃圏域の陽性者が増加傾向



↓ 1日当たり新規陽性者数が増加に転じる



※この資料のデータは、各医療機関がハーススに入力した個別陽性者毎のデータを使用（国公表数とは一致しない）

岐阜市 (402,557人) 人口： (20.3%)
岐阜市以外 (390,994人) 人口比： (19.8%)
西濃圏域 (358,439人) (18.1%)
中濃圏域 (364,282人) (18.4%)
東濃圏域 (323,574人) (16.4%)
飛騨圏域 (138,896人) (7.0%)
県外その他 8

市町村別の感染状況(11月28日公表分まで)

※ 順位：陽性者数・人口10万対の多い順

※ 人口：総務省統計局「令和2年国勢調査 人口等基本集計」(R2.10.1時点)

※この資料のデータは、各医療機関がハーススに入力した個別陽性者毎のデータを使用（国公表数とは一致しない）

市町村	人口	陽性者数					第 7 波以降	累計
		直近一週間（11/22～11/28）						
			順位	人口10万対	順位			
岐阜市	402,557人	2,711人	1	673.45	26	52,071人		76,385人
大垣市	158,286人	1,224人	2	773.28	12	20,691人		29,364人
高山市	84,419人	912人	4	1,080.33	1	11,504人		14,470人
多治見市	106,732人	819人	5	767.34	14	12,539人		17,872人
関市	85,283人	593人	7	695.33	23	10,468人		14,748人
中津川市	76,570人	706人	6	922.03	4	7,925人		10,918人
美濃市	19,247人	162人	24	841.69	7	2,120人		2,912人
瑞浪市	37,150人	239人	15	643.34	29	4,070人		6,378人
羽島市	65,649人	468人	9	712.88	21	8,301人		12,233人
恵那市	47,774人	409人	10	856.11	6	4,874人		6,617人
美濃加茂市	56,689人	406人	11	716.19	20	7,346人		12,413人
土岐市	55,348人	348人	13	628.75	30	6,603人		9,683人
各務原市	144,521人	1,037人	3	717.54	18	18,306人		26,221人
可児市	99,968人	516人	8	516.17	37	12,278人		19,380人
山県市	25,280人	140人	26	553.80	34	3,196人		4,437人
瑞穂市	56,388人	404人	12	716.46	19	7,733人		11,534人
飛騨市	22,538人	188人	20	834.15	8	2,347人		2,661人
本巣市	32,928人	168人	22	510.20	39	4,214人		5,875人
郡上市	38,997人	308人	14	789.80	11	4,693人		6,220人
下呂市	30,428人	199人	19	654.00	28	3,492人		4,165人
海津市	32,735人	218人	17	665.95	27	3,724人		5,142人
岐南町	25,881人	200人	18	772.77	13	3,954人		5,852人
笠松町	22,208人	181人	21	815.02	9	2,924人		4,194人
養老町	26,882人	138人	27	513.35	38	3,218人		4,424人
垂井町	26,402人	166人	23	628.74	31	2,980人		4,171人
関ヶ原町	6,610人	20人	39	302.57	42	595人		837人
神戸町	18,585人	131人	28	704.87	22	2,396人		3,338人
輪之内町	9,654人	74人	35	766.52	15	1,219人		1,704人
安八町	14,355人	97人	31	675.72	25	1,695人		2,420人
揖斐川町	19,529人	156人	25	798.81	10	2,285人		3,019人
大野町	22,041人	121人	29	548.98	35	3,041人		3,922人
池田町	23,360人	231人	16	988.87	3	3,096人		4,184人
北方町	18,139人	104人	30	573.35	33	2,394人		3,509人
坂祝町	8,071人	85人	33	1,053.15	2	1,287人		1,686人
富加町	5,626人	41人	38	728.76	17	817人		1,141人
川辺町	9,860人	86人	32	872.21	5	1,056人		1,519人
七宗町	3,402人	13人	41	382.13	41	253人		353人
八百津町	10,195人	53人	37	519.86	36	993人		1,406人
白川町	7,412人	56人	36	755.53	16	603人		813人
東白川村	2,016人	14人	40	694.44	24	155人		234人
御嵩町	17,516人	76人	34	433.89	40	1,833人		2,655人
白川村	1,511人	9人	42	595.63	32	192人		228人
県外その他						1,907人		2,838人

感染拡大状況に関する各種指標（圏域別）①

①10万人あたり新規陽性者数

（7日間移動合計）

飛騨圏域が高水準

圏域	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日
岐阜	372.12	467.64	607.02	682.12
西濃	432.43	549.33	627.44	718.67
中濃	336.00	426.59	530.63	661.30
東濃	363.44	439.78	600.48	779.11
飛騨	672.45	956.83	956.83	941.71
計	329.25	438.06	574.25	609.43

②病床使用率

中濃、西濃、飛騨が高水準

圏域	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日
岐阜	25.8%	36.6%	43.8%	43.5%
西濃	31.6%	46.6%	43.6%	50.4%
中濃	26.3%	38.1%	46.6%	57.6%
東濃	5.8%	9.5%	18.5%	34.4%
飛騨	22.1%	54.0%	51.3%	46.0%
計	22.0%	34.8%	39.7%	44.8%

③クラスター数

（医療機関・福祉施設）

西濃、飛騨で増加が顕著

期間		8/22～10/9 （7週間）		10/10～11/27 （7週間）		前期間比	
		クラスター数	人数	クラスター数	人数	クラスター数	人数
医療機関	岐阜	10	395	15	290	+5	-105
	西濃	3	100	9	296	+6	+196
	中濃	5	112	4	148	-1	+36
	東濃	1	15	1	13	0	-2
	飛騨	1	18	3	68	+2	+50
福祉施設	岐阜	44	715	45	795	+1	+80
	西濃	29	478	41	628	+12	+150
	中濃	27	544	29	458	+2	-86
	東濃	20	348	25	330	+5	-18
	飛騨	7	95	15	347	+8	+252

感染拡大状況に関する各種指標（圏域別）②

④救急搬送困難事案

（11月は20日時点）

東濃、中濃が多い傾向

	9月		10月		11月	
	件数	週あたりの件数	件数	週あたりの件数	件数	週あたりの件数
岐阜	4	0.91	4	0.91	5	1.75
西濃	0	0	0	0	0	0
中濃	6	1.4	10	2.24	9	3.15
東濃	17	3.99	21	4.76	11	3.85
飛騨	0	0	0	0	0	0
計	27	6.3	35	7.91	25	8.75

⑤学級閉鎖（10～11月）

岐阜、飛騨が多い

圏域	10/28～11/3	11/4～11/10	11/11～11/17	11/18～11/24
岐阜	11	8	21	11
西濃	4	3	6	7
中濃	1	8	13	7
東濃	4	9	14	5
飛騨	5	13	18	5
計	25	41	72	35

⑥ワクチン接種率

（R4.11.27時点）

飛騨、東濃、岐阜が
県平均を下回る

圏域	総人口	対象者	接種回数	接種率	
				総人口ベース	対象者ベース
岐阜	799,156	633,795	151,080	18.9%	23.8%
西濃	361,663	298,138	85,332	23.6%	28.6%
中濃	369,131	298,791	83,389	22.6%	27.9%
東濃	325,906	267,175	61,058	18.7%	22.9%
飛騨	140,749	118,492	26,713	19.0%	22.5%
計	1,996,605	1,616,391	407,572	20.4%	25.2%

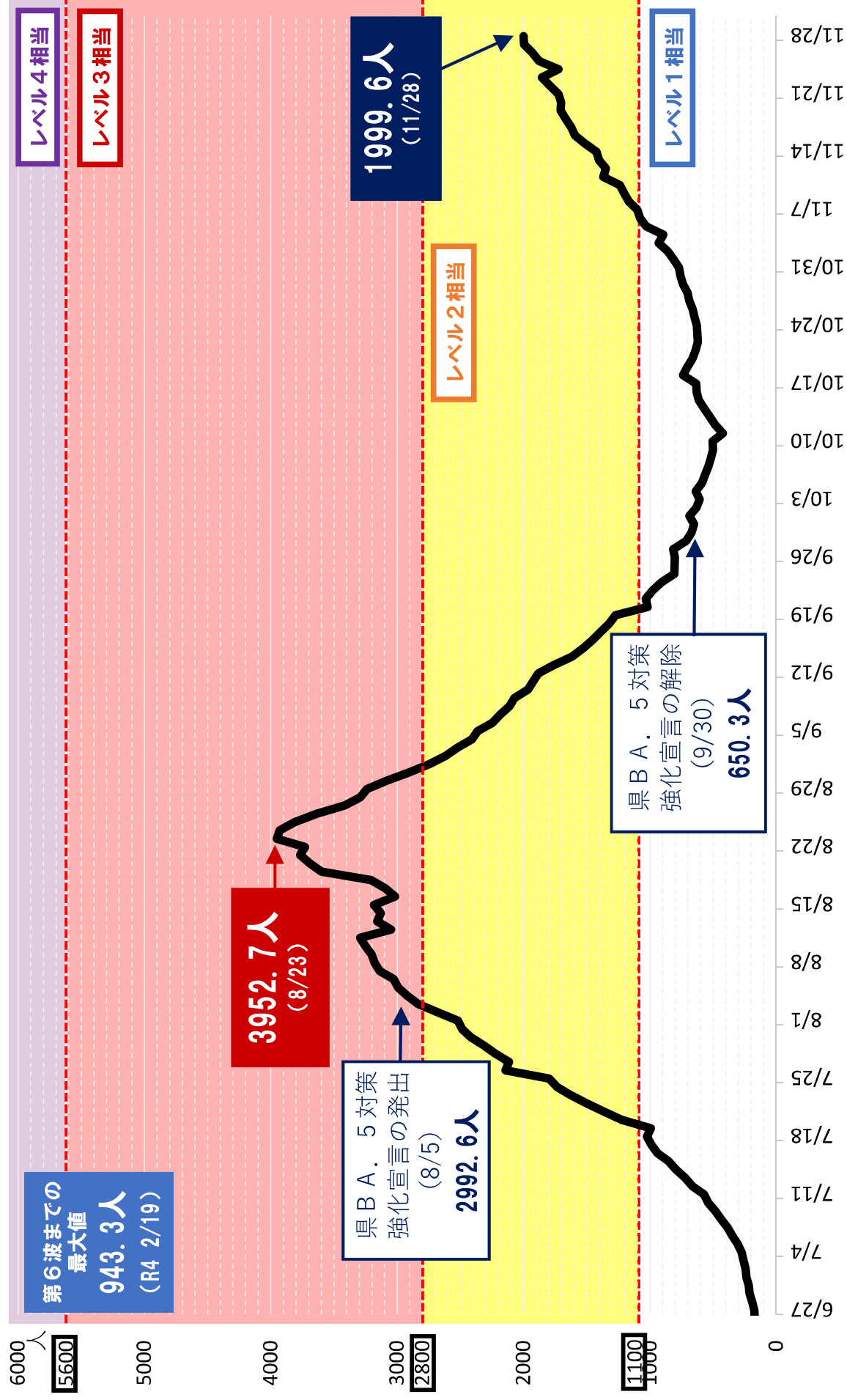
本県のレベル判断基準（案）

資料 2

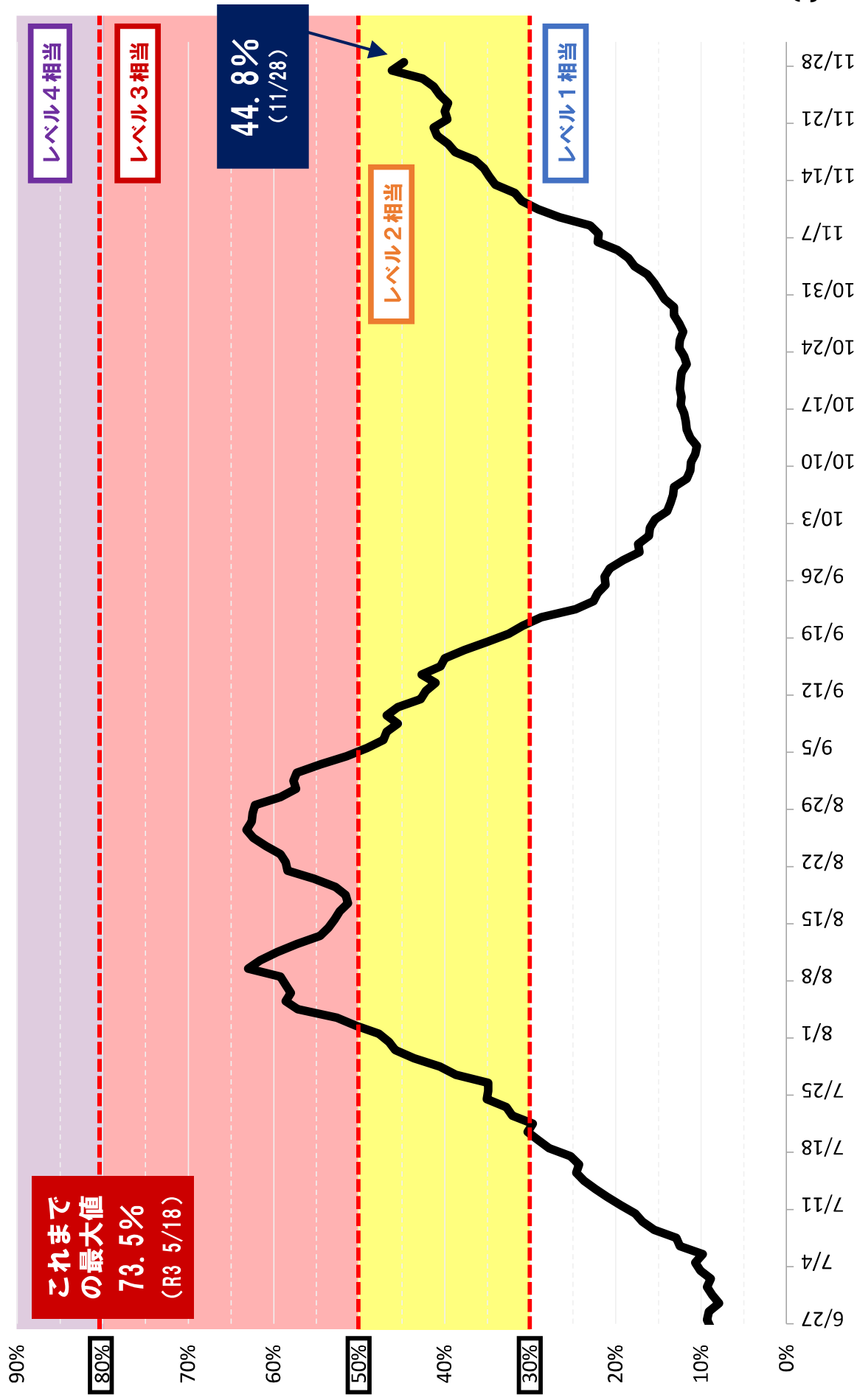
下記に示した指標、保健医療の負荷の状況及び社会経済活動の状況に関する事象を勘案して総合的に判断する。

レベル		指 標		事 象
1	感染 小康期	病床使用率	30%未満	【保健医療の負荷の状況】 外来医療・入院医療ともに負荷は小さい。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人 未満	
2	感染 拡大型	病床使用率	30%	【保健医療の負荷の状況】 - 診療・検査医療機関（発熱外来）の患者数が急増し負荷が高まり始める。 - 救急外来の受診者数が増加。 - 医療従事者の欠勤者数が上昇傾向。 【社会経済活動の状況】 - 職場の欠勤者が増加し、業務継続に支障を生じる事業者が出始める。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人	
3	医療負荷 増大型	病床使用率	50%	【保健医療の負荷の状況】 - 発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生。 - 救急搬送困難事案が急増。 (県全体で7～8件/週、圏域ごとに2～3件/週) - 医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる。 【社会経済活動の状況】 - 職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生。
		重症者数	10人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	2,800人	
4	医療機能 不全期	病床使用率	80%	【保健医療の負荷の状況】 - 膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般外来にも患者が殺到。 - 救急車を要請されても対応できない状況が発生。通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態。 - 多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫。 - 入院できずに自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生。 【社会経済活動の状況】 - 職場の欠勤者数が膨大になり社会インフラの維持に支障が生じる。
		重症者数	25人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	5,600人	

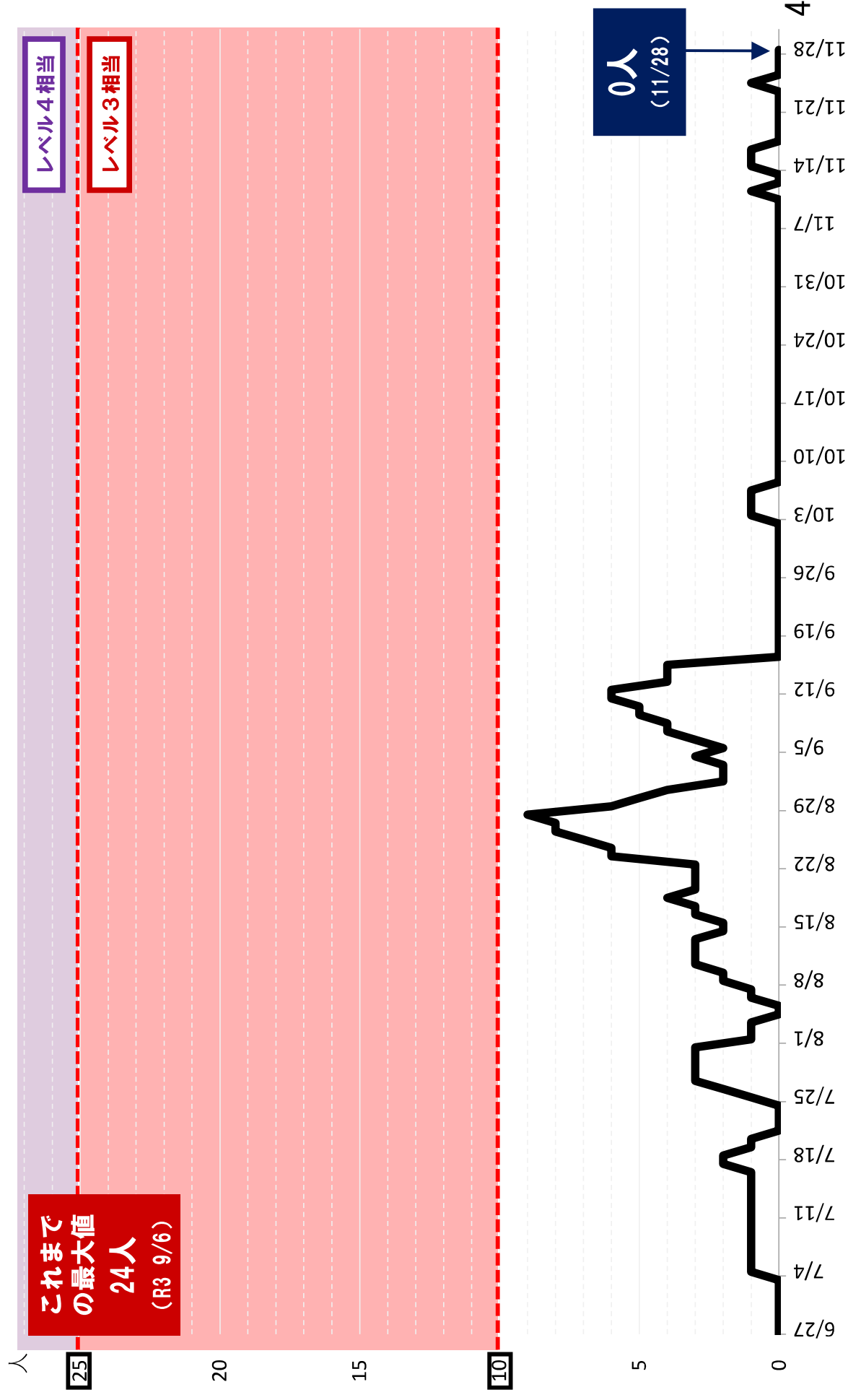
1日あたり新規陽性者数（1週間平均）の推移



県の病床使用率の推移



重症者数の推移



(案)

岐阜県医療ひっ迫警戒宣言

～かつてない年末年始を避けるために～

令和4年11月29日決定
岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

新型コロナウイルスの感染急拡大に歯止めがかかりません。新規陽性者数（1週間平均）は2千人を超え、全国平均を上回る勢いで増加しております。

これは、気温が下がり、換気が不徹底になりがちな室内に人が留まりやすいこと、湿度低下に連動し、空気中を漂う飛沫が増えることによりエアロゾル感染が起こりやすくなっていることなどの影響と考えられます。

これに伴い、病床使用率は40%を超えて、なお上昇を続けています。また、医療従事者への感染も広がっており、一時は落ち着きを見せていた、コロナ医療以外の一般病棟の入退院や救急医療の制限も増加しており、再度の医療ひっ迫が目前に迫っている状況です。

このまま、人の集まる機会の多い年末年始を迎えると、かつてない規模の感染爆発となり、会いたい人にも会えない状況になりかねません。

こうした状況を踏まえ、今般、政府対策本部により示された、「今秋以降の感染拡大で保健医療への負荷が高まった場合の対応について」に基づき、オミクロン株に対応した新たなレベル分類を設定（別紙1）するとともに、ここに「岐阜県医療ひっ迫警戒宣言」を発出し、以下のとおり対策強化への協力を要請します。

県民、事業者、医療機関、市町村の皆様におかれましては、基本的な感染防止対策の徹底をはじめ、これら要請を徹底いただきますようお願いいたします。

対策強化の内容

1 県の取組み

<ワクチン接種の加速化>

- 県大規模接種会場（岐阜産業会館）での接種、各市町村の接種や職域接種へのサポート、広報の徹底により**ワクチン年内接種を加速化**

<医療体制の機能確保・強化>

- 県陽性者健康フォローアップセンターにおいて、**検査キットの配送体制や登録・相談体制の強化**を実施
- 外来医療体制の確保・強化（後述「4 医療機関への要請」）

2 県民の皆様への要請

<感染防止対策の徹底>

- 3～5回目（オミクロン株対応）及び小児・乳幼児への**速やかなワクチン接種**
- 適切なマスク着用、手指衛生、密回避、こまめな換気、体調不良の際はすべての行動ストップといった**基本的な感染防止対策の徹底**
- 学校・部活動、習い事・学習塾、友人との集まりでの感染に特に注意

<外出、飲食、イベントにおける対応>

- 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出など、**感染拡大につながる行動を慎重に**
- 飲食店での大声や長時間の飲食の回避、会話の際のマスク着用を徹底するとともに、**大人数の会食への参加は慎重に**
- 大規模イベントへの参加は慎重に

<体調不良時の対応>

- 重症化リスクが低い方（高齢者、基礎疾患のある方、妊婦などと小学生以下の子ども以外の方）は、発熱外来を受診する前に、検査キットによるセルフチェックを行い、陽性の場合は、健康フォローアップセンターに登録（症状が重いと感じる場合には、電話相談や受診を）
- 救急外来及び救急車の利用は、真に必要な場合に限ることとし、専門WEBサイトや電話相談窓口を利用
 - ※WEBサイト：「救急車利用マニュアル」、「こどもの救急」など
 - ※電話相談窓口：岐阜県健康相談窓口 058-272-8860（24時間）
子どもの急病などの相談窓口 #8000 または 058-240-4199

＜検査の活用＞

- 感染者と接触があった際の早期検査
- 帰省時など高齢者や基礎疾患のある方と会う際の事前検査
- 福祉施設利用者が一時帰宅などで親族と過ごした後には検査を徹底

3 事業者の皆様への要請

＜感染防止対策の徹底＞

- ワクチン接種のための休暇の取得など、従業員やその家族が接種しやすい環境づくり
- テレワーク（在宅勤務）などの推進
- 人が集まる場所での感染対策の徹底
 - ・従業員への検査の勧奨 ・適切な換気 ・手指消毒設備の設置
 - ・入場者の整理、誘導 ・発熱者などの入場禁止・入場者のマスク着用などの周知
- 福祉施設における抗原検査キットなどを活用した集中的検査の推進
- 飲食店での十分な換気・座席間隔の確保またはパーティション設置

＜業務継続体制の確保＞

- 住民、取引先、顧客などに対し、**一時的に業務停止する必要があることやその際の対応について事前に周知**するなど、多数の欠勤者の発生に備えた業務体制を確保

4 医療機関への要請

＜医療体制の機能確保・強化＞

- 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンとの同時接種に対する有効性・安全性の理解と接種の促進
- 希望する方が医療機関を受診し、その後も安心して診療を受けられるよう、**診療・検査医療機関の増加、診療時間の延長や休日診療体制の拡充など外来診療を強化**
- 濃厚接触となった医療従事者が待機期間中であっても抗原定性検査を行い医療に従事できる運用を可能な限り実施

5 市町村への要請

＜ワクチン接種の加速化＞

- 新型コロナワクチンの**年内接種完了**に向け、あらゆる媒体による積極的な広報を行うとともに、個別接種、集団接種を加速化

＜感染防止対策の徹底＞

- 感染拡大傾向が顕著な市町村については、**独自の対策を策定**（別紙2）

本県のレベル判断基準

下記に示した指標、保健医療の負荷の状況及び社会経済活動の状況に関する事象を勘案して総合的に判断する。

レベル		指 標		事 象
1	感染 小康期	病床使用率	30%未満	【保健医療の負荷の状況】 外来医療・入院医療ともに負荷は小さい。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人 未満	
2	感染 拡大期	病床使用率	30%	【保健医療の負荷の状況】 - 診療・検査医療機関（発熱外来）の患者数が急増し負荷が高まり始める。 - 救急外来の受診者数が増加。 - 医療従事者の欠勤者数が上昇傾向。 【社会経済活動の状況】 - 職場の欠勤者が増加し、業務継続に支障を生じる事業者が出始める。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人	
3	医療負荷 増大期	病床使用率	50%	【保健医療の負荷の状況】 - 発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生。 - 救急搬送困難事案が急増。 (県全体で7～8件/週、圏域ごとに2～3件/週) - 医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる。 【社会経済活動の状況】 - 職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生。
		重症者数	10人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	2,800人	
4	医療機能 不全期	病床使用率	80%	【保健医療の負荷の状況】 - 膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般外来にも患者が殺到。 - 救急車を要請されても対応できない状況が発生。通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態。 - 多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫。 - 入院できずに自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生。 【社会経済活動の状況】 - 職場の欠勤者数が膨大になり社会インフラの維持に支障が生じる。
		重症者数	25人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	5,600人	

家族そろってあたたかな新年を迎えるために
～高山市・飛騨市・白川村 感染拡大防止メッセージ～

新型コロナウイルス感染症は、11月に感染が拡大しクラスターが複数発生するなど新規陽性者数が全国的に見ても高い水準となっています。

飛騨は厳しい冬の季節に入り、こまめな換気が十分にできない状況が、感染拡大の要因の一つとなっていると考えられます。今後寒さが増し、さらに感染者が増加すると、今夏のような医療ひっ迫などの事態に陥ることが懸念されます。

感染拡大を最小限に抑え、こうした深刻な事態を阻止し、社会経済活動を回しつつ、ひと月後には家族そろって笑顔で新年を迎えることができるよう、今一度感染拡大防止に取り組んでいただきますようご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年11月29日

高山市長 田中 明

飛騨市長 都竹 淳也

白川村長 成原 茂

＜2市1村の感染状況等＞ ※11/27時点データ

- ・10万人あたりの新規陽性者（7日間移動合計）1003.06人
※全国第1位の北海道(1080.81人)、2位の宮城県(1020.38人)に次ぐ水準
- ・病床使用率47.8%（下呂市を含めた飛騨圏域全体）※県平均を上回る
- ・クラスターによる陽性者数（感染再拡大（10月10日）前後の7週間比較）
医療機関3.8倍、福祉施設3.9倍 ※いずれも県内最大

＜感染拡大の要因と分析＞

- ・新規感染者数やクラスターの増加については、子どもから多世代同居する家族内の感染や、高齢者施設内で入所者・利用者・支援者に感染が拡大するケースによるものが多いと推測されます。
- ・感染経路不明の方は多いものの、飲食、イベント、旅館・ホテル等での感染拡大は報告されていません。
- ・マスク着用、手指消毒などの対策は以前と変わらず取られていることを考えますと、寒くなり、換気が不十分なことが感染拡大の要因の一つと推測されます。
- ・病床使用率が高い理由については、入院対象となる高齢者が多い福祉施設内のクラスターによる入院が多かったことによるものと考えられます。現在は徐々に施設等での感染も収まりつつあり、入院されていた患者さんが施設等に戻りかけている状況となっていると思われます。

市民・村民の皆さんにお願いする対策

(1) ワクチンの接種

- オミクロン株対応ワクチンの早期接種
- 小児（5歳～11歳）及び乳幼児（生後6か月～4歳）のワクチン接種

(2) 基本的な感染防止対策、特に換気の徹底

- 常時換気の徹底
 - ・わすかでよいので廊下・居間等の窓を常時複数開放し空気の流れを作る、定期的に部屋全体を換気する、二酸化炭素測定器で常時数値をチェックするなど
 - ・乗り合わせの車中では、外気導入で風量を強くするなど
- 会食時には、マスク会食とこまめな換気の徹底
 - ・人数の多少に関わらず、しゃべる際のマスク着用の徹底、換気の悪い空間の回避など
- 混雑した場所や感染リスクが高い場面における適切なマスク着用
- 手指衛生（手洗いが基本、できない場合は消毒を）
- 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出などの回避
- 日々の体調チェックと定期的な体温の測定

(3) 感染の不安がある際の行動

- 少しでも喉の痛みなどを感じた際、風邪っぽさを感じた際の行動ストップの徹底（感染対策チェックリストの活用、出歩かない・人と会わないなど）
- 市内の薬局等で県が実施している無料検査の活用（無症状で感染不安を感じる場合（旅行やレジャーの出発前と帰宅後、高齢者や基礎疾患のある方と会う前など）、症状がある場合に65歳未満、重症化リスクの低い方等は、県陽性者健康フォローアップセンターの利用）
- 感染の可能性がある場所に出かけた日から2～4日目の継続した検査の実施

(4) 家族内感染の防止

- 家族内で感染の可能性がある方が発生した場合の迅速な感染回避対策
 - ・家庭内でのマスク着用・消毒の徹底
 - ・行動の分離（寝室・食事をする場所を分ける、風呂は最後に入るなど）
 - ・タオル等の共用の回避など

(5) 医療ひっ迫を防ぐ取り組み

- すぐに医療機関を受診せず、症状がある場合はまず24時間電話健康相談の利用
- 市内の薬局等で県が実施している無料検査の活用（無症状で感染不安を感じる場合（旅行やレジャーの出発前と帰宅後、高齢者や基礎疾患のある方と会う前など））※再掲
- 症状がある場合に65歳未満、重症化リスクの低い方等は、県陽性者健康フォローアップセンターの利用※再掲
- 解熱鎮痛剤、生活必需品（食料など）の備蓄
- 救急車の適正利用

企業・事業所の皆さんにお願いする対策

（１）事業所、宿泊施設、飲食店内の感染対策の再確認

- 狭い空間や昼食時のマスクなしでの会話を避けること
- 事業所など施設全体での換気の徹底
- 各業種におけるガイドラインの遵守・徹底

（２）介護福祉施設、小中学校、保育施設における対策の再確認

- 職員の予防的検査の実施
- 換気の徹底など感染防止対策の徹底、症状がある場合の行動ストップの徹底

※感染の更なる拡大時及び季節性インフルエンザの同時流行時の医療体制の確保に向けて
保健所との連携のもと、医師会などの関係機関の協力を得て、外来診療の強化など医療体制を確保します。

新型コロナ感染対策 チェックリスト（家庭向け）

令和4年11月9日時点版

		はい	いいえ
家族の健康管理	毎朝の家族全員の体温測定、健康チェック（咽頭痛、咳、鼻水、下痢、だるさなど）をしていますか。	☐	☐
	発熱や体調が悪い家族がいたときに、診療してもらうかかりつけ医はいますか。	☐	☐
	かかりつけ医がいない場合に受診できる、診療・検査医療機関があることを知っていますか。	☐	☐
	検査キット、解熱鎮痛剤、体温計、生活必需品（食料など）の準備をしていますか。	☐	☐
手洗い・消毒 換気などの 衛生管理	家に帰ったら、手洗いあるいは手指消毒をしていますか。（子どもも確認）	☐	☐
	トイレの後や食事の前に、手洗いあるいは手指消毒をしていますか。	☐	☐
	適切なタイミングで換気（換気扇の常時稼働や窓・扉の開放による）をしていますか。	☐	☐
外出時の感染対策	混雑した場所や感染リスクが高い場面においてはマスクを着用していますか。	☐	☐
	買い物は、短時間ですませていますか。	☐	☐
	外食は、少人数・短時間ですませていますか。	☐	☐
	子どもや高齢者と外出するときは、人混みや長時間の外出を避けていますか。	☐	☐
体調が悪い 家族がいる 場合の感染 対策	発熱や体調が悪いときは、出勤や登校を控えていますか。	☐	☐
	体調が悪い家族と対面する場合は、家庭内でもお互いにマスクをしていますか。（障がいなどによりマスクができない場合を除く）	☐	☐

新型コロナウイルス感染対策 チェックリスト（事業者向け）

令和4年11月9日時点版

		はい	いいえ
正しいマスク着用・手洗いなどの衛生対策の徹底	出退社時に手洗い又は消毒をしていますか。	☐	☐
	勤務時間中には必ずマスクを着用していますか。	☐	☐
	消毒備品などを利用しやすい場所に設置し、手洗いや手指消毒が適切にできる環境としていますか。	☐	☐
	出勤前の体調チェックを徹底するなど、職員の体調管理、発熱などの症状の有無の確認をしていますか。また、その役割を担う「コロナガード」を任命していますか。	☐	☐
	勤務中に体調不良になった職員は必ず帰宅させ、受診を勧めていますか。また、欠勤者が出た場合のBCPを策定していますか。	☐	☐
	取引先などの外部関係者に対しても、職員に準じた感染防止対策を要請していますか。	☐	☐
人との距離を保つ（ソーシャルディスタンスの確保）	テレワーク、時差出勤など、様々な勤務形態の積極的な検討を通じ、通勤頻度の低減を考慮していますか。	☐	☐
	間隔（最低1m）に配慮した人員や席の配置などに努めていますか。	☐	☐
	食堂、洗面所、休憩室、喫煙所、更衣室なども、マスク着用、距離の確保、休憩時間をずらすなどの工夫を行っていますか。特に洗面所はできる限り個人単独での使用に努めていますか。	☐	☐
	会議はweb会議を活用し、対面会議の場合、換気、マスク着用の徹底、手指消毒、時間短縮など、必要最低限の開催に努めていますか。	☐	☐
	密になりやすい場所などの人数制限を行っていますか。	☐	☐
	社用車内において、正しくマスクを着用し、少人数で、常時換気を行っていますか。	☐	☐
十分な換気・衛生管理の徹底	寮などの共同生活空間において、正しくマスクを着用し、大声や長時間の会話自粛を徹底していますか。	☐	☐
	執務室において、こまめな換気（換気扇の常時稼働や窓・扉の開放による1時間に2回以上、1回につき5分以上の換気）を行っていますか。	☐	☐
	清掃・消毒・ごみ回収はマスクを着用し、事後に手洗い・手指消毒を徹底していますか。	☐	☐
	職員の体調が思わしくない場合は、気兼ねなく休める環境づくりを行っていますか。	☐	☐
	コロナハラスメント（差別的取扱いなど）が起きていませんか。	☐	☐

11月29日（火）～

新型コロナウイルス感染症

岐阜県医療ひっ迫警戒宣言

- 10月中旬以降、再び感染者数は増加傾向にあります。
 - 本市の人口10万人あたり新規感染者数(7日間移動合計)は、11月29日（火）時点で**682.8人**
 - 県内の病床使用率は、40%を超えて上昇
- 医療従事者への感染も広がっており、コロナ医療以外の一般病棟の入退院や救急医療の制限も増加しており、再度の医療ひっ迫が目前に迫っている状況です。
- 発熱外来への受診者数も増加しています。
- こうした状況から、県において本日、「**岐阜県医療ひっ迫警戒宣言**」が発出されました。
- 市民の皆様、事業者の皆様におかれましては、基本的な感染防止対策をはじめ、県からの要請を徹底いただきますようお願いいたします。

令和4年11月29日 岐阜市長 柴橋 正直

市民の皆様へ

基本的な感染防止対策

- 必要な場面での「マスクの着用」、「手指衛生」、「密回避」、「**こまめな換気**」
- 少しでも体調不良の時は、全ての行動をストップ！
重症化リスクが低い方(高齢者、基礎疾患のある方、妊婦などと小学生以下の子ども以外の方)は、
発熱外来を受診する前に、検査キットによるセルフチェックを行い、
陽性の場合は、岐阜県陽性者健康フォローアップセンターに登録を！
(症状が重いと感じる場合には、電話相談や受診を)

ワクチン接種

- 3～5回目(オミクロン株対応)及び小児・乳幼児のワクチンについて、
希望される方は、速やかな接種をご検討ください。

外出、飲食、イベントにおける対応

- 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出など、感染拡大につながる行動は慎重に！
- 飲食店での大声や長時間の飲食の回避、マスク会食(食事は静かに、会話時はマスク着用)を徹底！

検査の活用

- 感染者と接触があった際は早期検査を！

医療・療養

- 救急外来および救急車の利用は、真に必要な場合に限ってください。
- 感染した場合に自宅療養となることを想定して、予め食料などの備蓄を！

事業者の皆様へ

- ワクチン接種のための休暇の取得など、
従業員とその家族が接種しやすい環境づくりをお願いします。
- 人が集まる場所での感染対策の徹底を！
寒くなる時期ですが、職場でも**十分な換気の徹底**をお願いします。